

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

4- II -6

4- II -6

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	ガイドンス施設整備
節	II.ガイドンス機能・ガイド体制の充実		
事業(施策)名	6 ガイドンス施設整備	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課、佐渡市社会教育課
事業概要	【事業目的】 ○ 世界遺産の価値を分かりやすく来訪者へ伝えるため、ガイドンス施設の整備を行う。		
	【事業内容】 ○ メインガイドンス施設とサテライトガイドンス施設の機能分担の整理と整備事業を行う。		
事業計画と実績	【R2年度計画】 ● ガイドンス施設での効果的な情報提供や地域との連携を強化していくため、関係機関・民間団体等との打ち合わせや協議を進める。		
	【R2年度実績】 ● きらりうむ佐渡の利用促進に向け、イベントの企画や誘客促進の方策等について、関係機関(市観光振興課、佐渡観光交流機構など)との協議を行った。 ● 旧西三川小学校笹川分校に解説パネル等を設置し、サテライトガイドンス施設としての整備が完了した。 ● サテライトガイドンス施設としての活用に向け、金子勘三郎家住宅の部分解体修理工事を実施した。 ● サテライトガイドンス施設としての活用に向け、旧御料局佐渡支庁跡(相川郷土博物館)の修理工事実施に向けた基本設計において、効果的な活用を図るため、関係課と協議を行った。		
課題・今後の取組	【課題】 ■ ガイドンス施設として整備した「きらりうむ佐渡」及び「旧西三川小学校笹川分校」を効果的に運用・活用する必要がある。		
	【今後の取組】 ■ 引き続き、ガイドンス施設での効果的な情報提供や地域との連携を強化していくため、関係機関・民間団体等との打ち合わせや協議を行う。 ■ サテライトガイドンス施設として、西三川地区の金子勘三郎家住宅及び相川地区の旧深見家住宅の整備を計画的に進める。 ■ 旧御料局佐渡支庁跡の整備活用に向けて、引き続き関係課との協議を進める。		
事業評価	【事業の達成度】 [a・ (b) ・c] 【事業実施の効果】 [a・ (b) ・c] 【総合評価】 [A・ (B) ・C]		

◇ 来訪者受入の拠点施設となるガイドンス施設の整備は令和2年度で完了した。概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られていることから、B評価とした。

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。